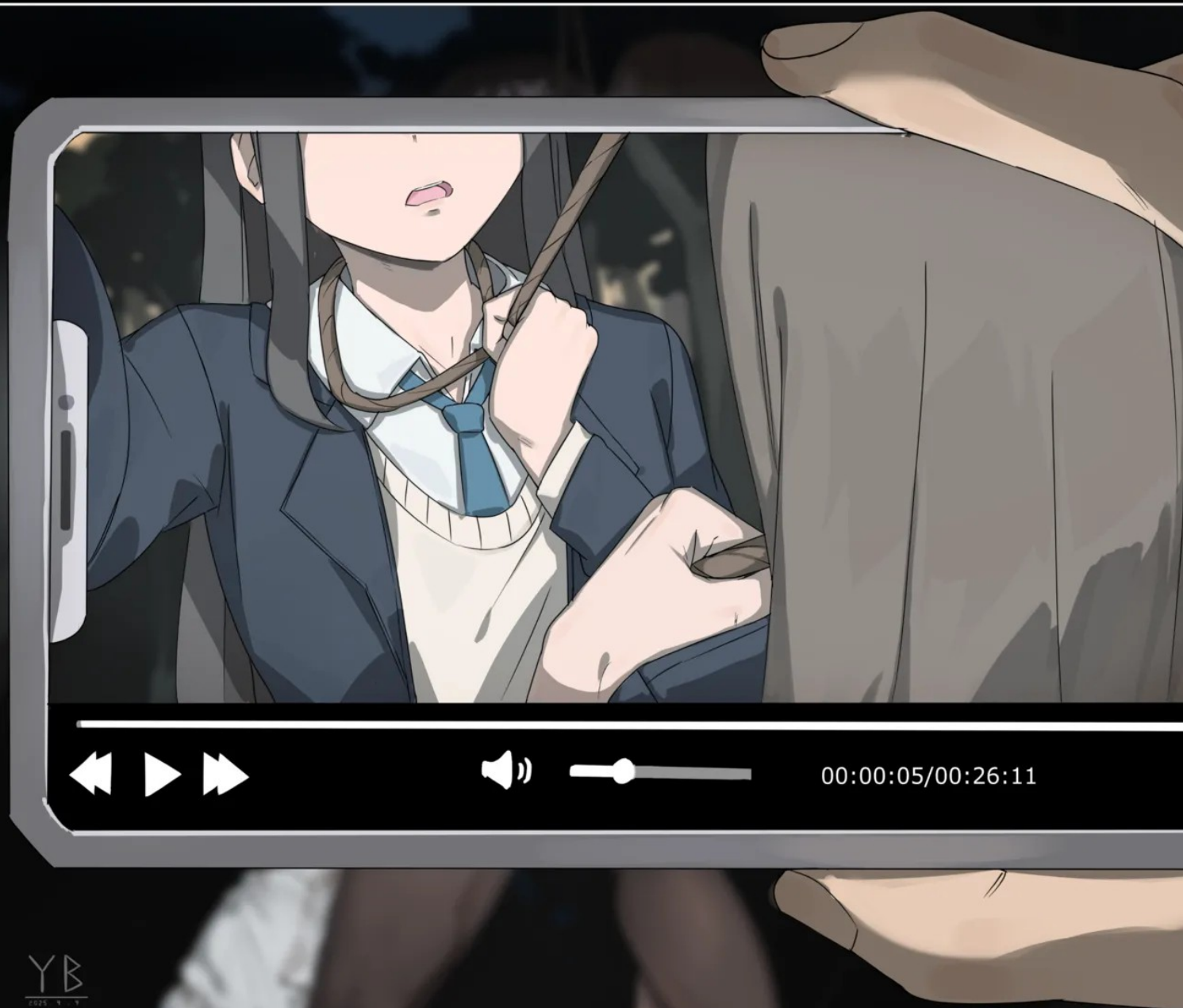




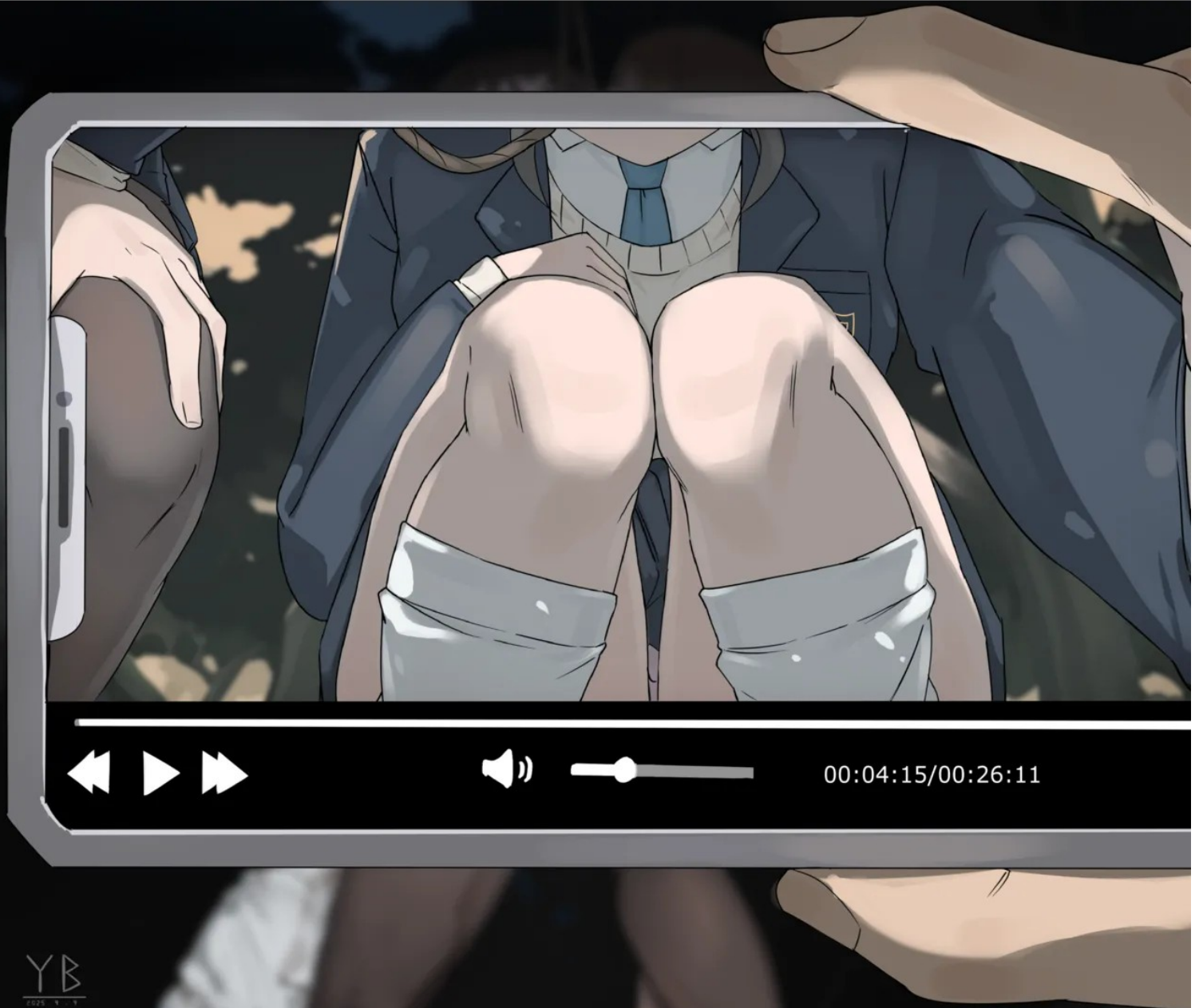
死体発見 III

Dead body found III

近年、突然いくつかの無名のウェブサイトで噂が広まり、この山林が自殺に適していると言われています。今年はすでに3人目です.....死ぬ前にビデオを録画したのですか？ きっかけは、誰かがここに来て以前の自殺者の墓碑を見つけたことで、広まった後、ここで自殺すれば誰かが遺体を埋めてくれると信じる人が出てきました...



もちろん.....これらはただの噂です。本当のところは、この山林は私が管理しています。普段、山林を巡回しているとき、これらの自殺者の遺体が木に吊るされて腐敗しているのは非常に面倒です...



でも、私はそんなに親切である必要はありません。自分の領地内で、これらの「侵入者」の遺体をどう処理するかは私次第です。



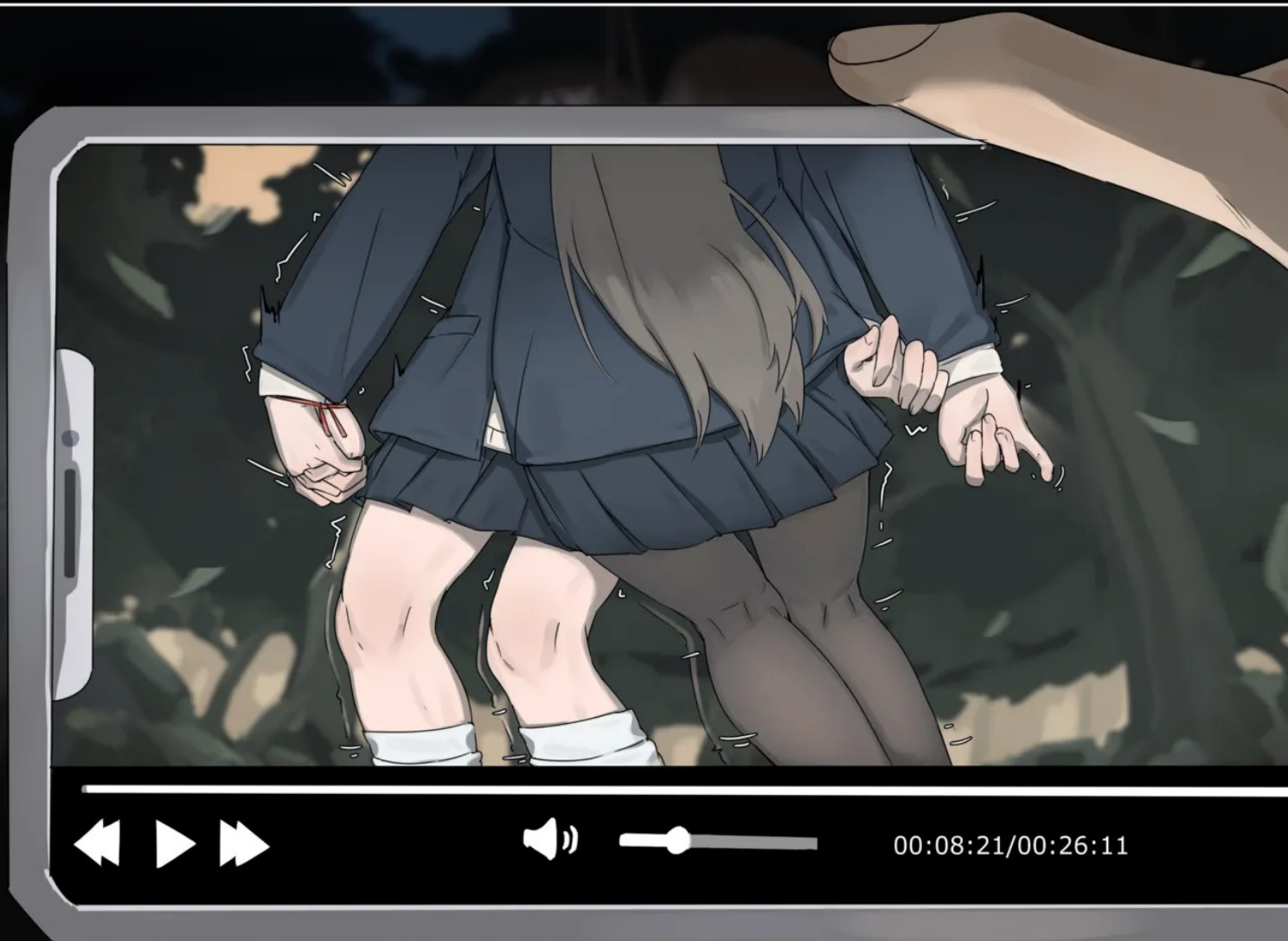
今年、こんな高校生までここで自殺するとは思いませんでした。都市から遠いのに、彼女たちがどこから来たのかも分かりません...



本当に迷惑をかける奴らです...この連中、山林の周囲には柵があり、立ち入り禁止の標識もあるのに、生きる気がない奴らはそれでも登ってくるんです。



うーん...足がすごく震えてる、筋肉が全部硬直して、痙攣してるのかな。思い出したけど、以前にも突然こんな考えが浮かんできたことがあって、祖父から林業者の仕事を引き継いだ後でした。あの時は、借金を返せなかったOLでした。彼女の自殺ビデオを見た後、迷わず彼女を犯しました。



林間で遺体が見つかったのは少し遅かったけど、ちょっと臭い以外は、使ってみるとかなり刺激的でした。あの時は使い終わった後に埋めてしまったのが残念です。今回のこの二人の遺体...
ずっと前から準備していた「実験」をやってみようと思います。



...

どうやら終わったようです。ちょうど近くに巡回トラックがあるから、録画機器を取りに行って、彼女たちの遺体を記録します。



今日の運はかなりいいですね。どう見ても、今日死んだばかりのようです。近づいてみたら、めっちゃ強い尿の臭いが...死ぬ前に排尿しなかったんだな、でもその点は嫌いじゃないです。



うーん、ずっと前からこんなことを想像してました。パンスト越しに女子高生の下半身の臭い匂いを嗅ぐこと。体はまだ温かい、さすが数時間前に死んだばかりの遺体ですね。



まずい、ちょっと膨らんできた。まず彼女たちの死後硬直した足で処理してもらおう。



パンストに穴をあけて、二人の死後硬直した足の間に挿入する。二人の足からの圧迫感が
感じられる、これは本当に素晴らしい体験だ。



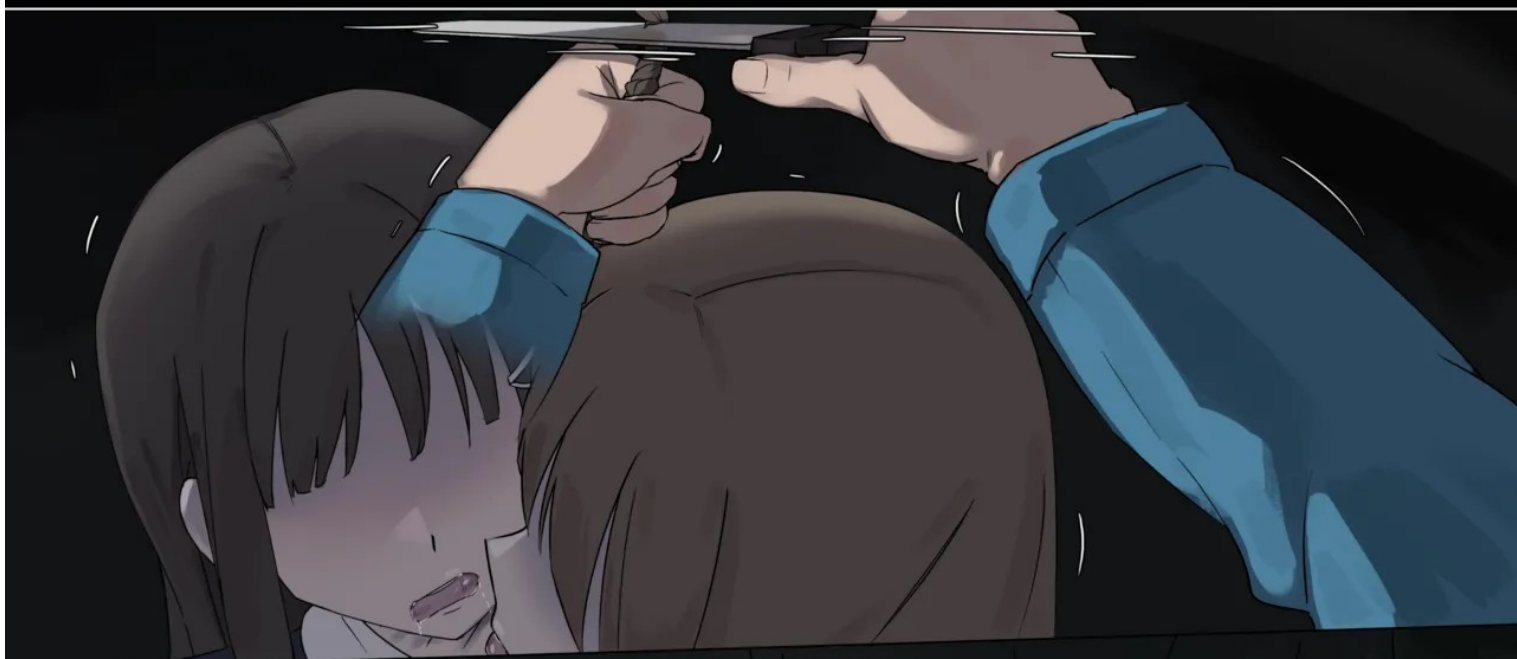
ふう、めっちゃ気持ちよかった。ストッキングがほとんど舐め透かされて、陰唇まで舐めたみたいだ。



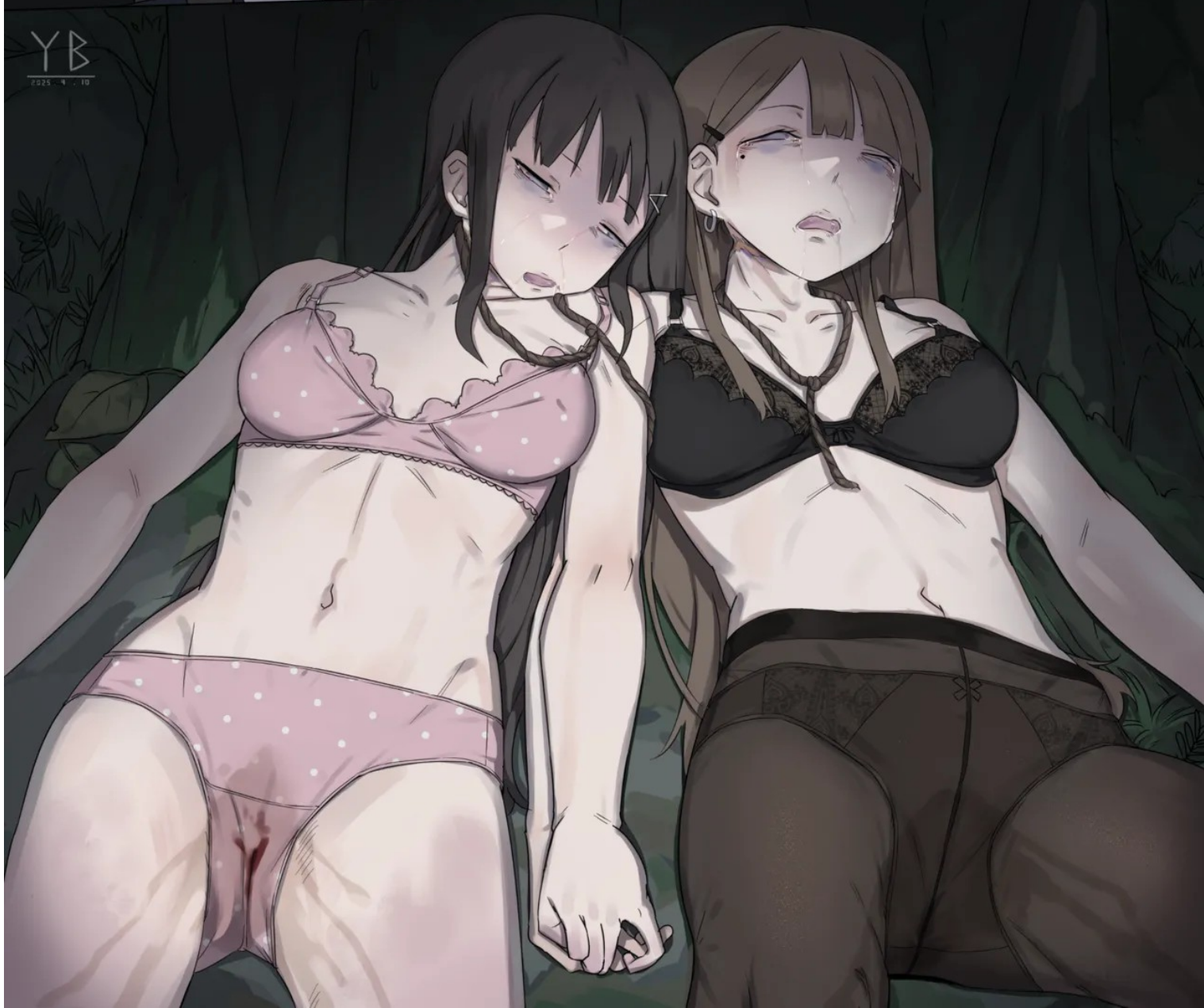
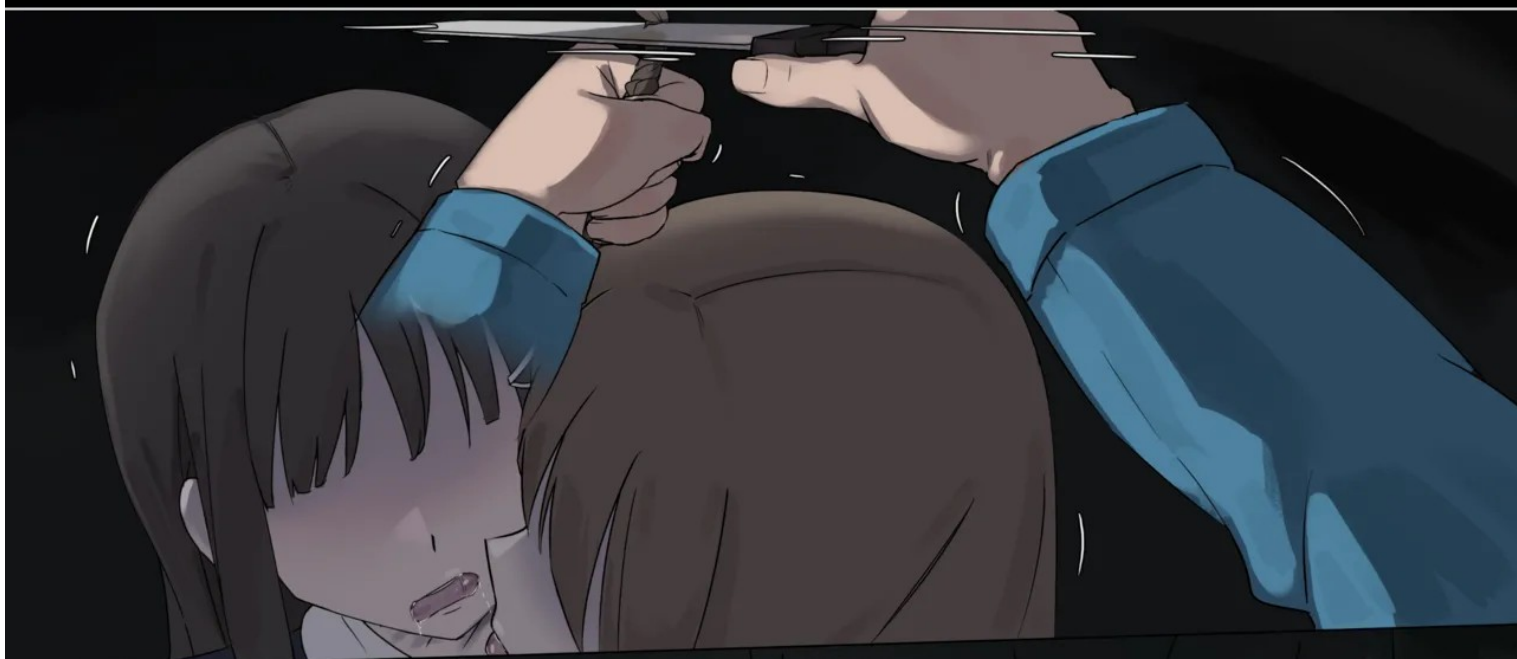
ついでにこの二人のプライベートをチェックしてみよう、失礼します。あ、一人の女子高生は処女だね。ちょっと破っちゃって、血が出ちゃった。でももう一人は処女じゃないけど、こういう膣も気持ちいいね...そろそろ彼女たちを下ろす時間だ。



二人のロープはまだ一緒に結ばれています。一緒にここで自殺するなんて、彼女たちの関係はかなり良かったんでしょうね。うーん...下ろしました...このタイミングも悪くない、冬が来て山が封鎖されるから、今年はまだ誰もここに来ないだろう。次は、服を脱がせる時間です。



...生きていた時に着ていた下着、結構可愛いね。でも、運びやすくするために、遺体を裸にしちゃった方がいい。ついでに足を上げて、尿を排出しましょう。



ふう...死後硬直で体がめっちゃ硬いけど、なんとか両足を上げられました。...めっちゃ恥ずかしい姿勢だね。木に目印をつけるためのテープを使って、彼女たちの手を縛ってみよう...完璧。女子高生が生前、恋人にだけ見せるために陰唇を広げる行為が、今、完璧に再現されました。



彼女たちの下腹を押すと、こうやって尿が出てくる。ちょっと力を入れると—おお、こんな放物線、生きてた時の排尿みたいだね。尿を出し終わったら、まず綺麗にしないとね。



持ち歩いてるティッシュで彼女たちの下半身を拭いてきれいにし、ショルダーバッグを開けて学生証を見つけ、濡れたパンツと一緒に並べて、写真とビデオを撮りました。これはめっちゃエロいね。2回目は口を使おう。



黒髪の子、首がちょっと折れてるみたい...でも、まあ問題ない。涙でメイクが流れてる...
でも舌を出してる姿、なんか可愛いね。



ペニスの味はどう？これから何度も舐めることになるから、味に慣れておきなよ。



やばい、半分出てる舌がこんなに柔らかくて、擦るたびに包皮に沿って舐めてくる。



おお！めっちゃ出た。女子高生の口と舌、最高！

...ふう、もうちょっと片付けて、トラックに積んで運ぼう。



数時間かけて真空パックして森の地下室に運びました...以前、これらの自殺者の遺体を見て、遺体を保存して性玩具にする実験をしてみたいと思っていました。林業者の仕事を引き継ぐ前に、幸いにも医学を勉強していたので、ずっと研究してきた薬が効果を発揮するか試してみましょう。



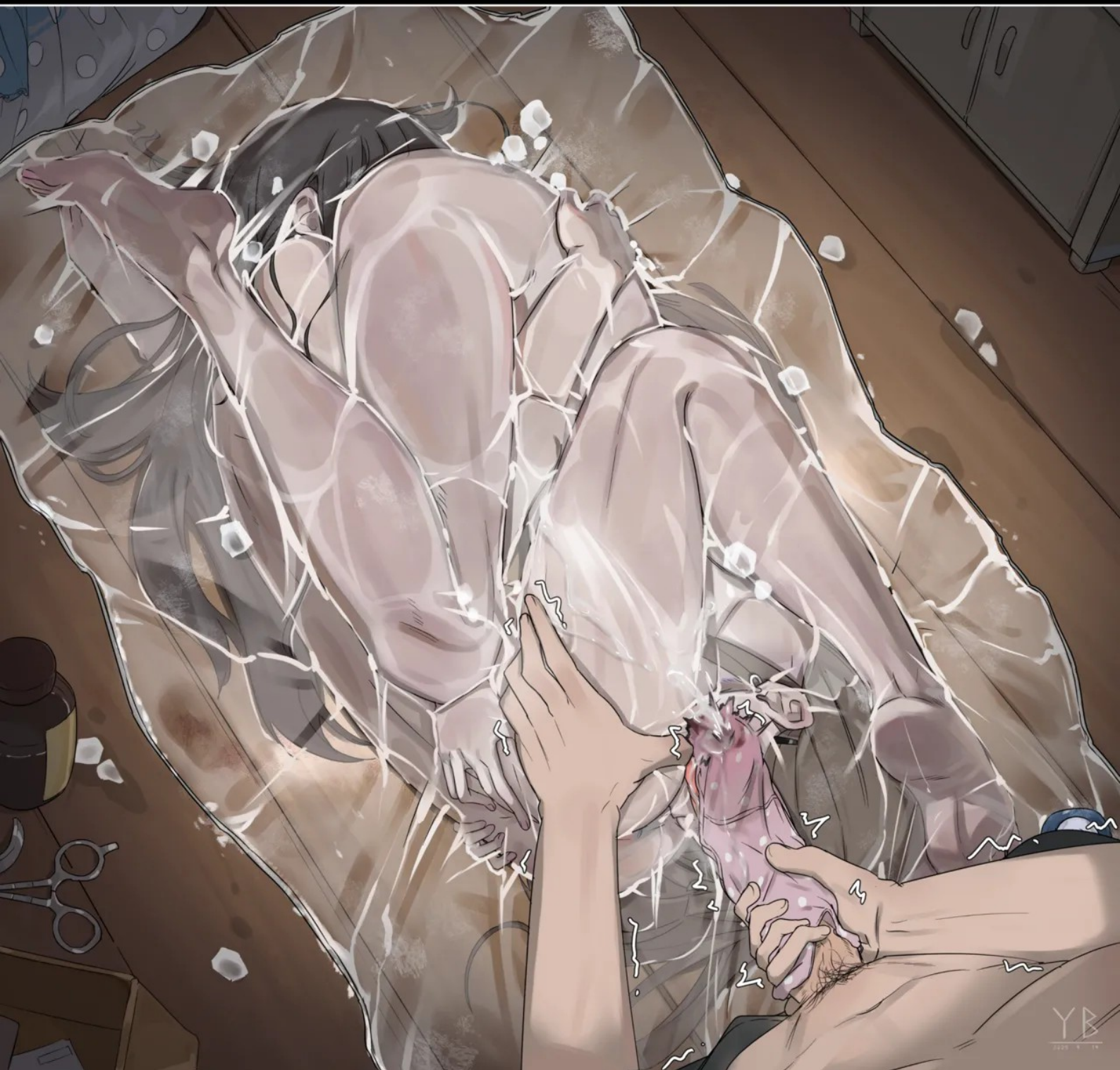
真空パックする前に、彼女たちの膣と口に防腐剤を注入しました。そして、互いに抱き合い、相手の陰唇を口に含むようにしました。これは普通の防腐剤ではありません。成功すれば、腐敗を防ぎながら肉を柔らかく保つことができます。



真空バッグ越しに彼女たちのパンツで一発やってみましょう。真空バッグの中で冷凍肉のようになって横たわっていて、誰かに猥褻されていることを全く気にしていないようです。



出た...冷凍肉に向けて一発。
そろそろ真空バッグを開ける時間です。



うーん...防腐剤がかなり染み込んでいるようです。次は、より徹底的な防腐処理が必要です。



彼女たちの体をもう一度拭いてきれいにします。口には互いの膣の臭いが移って、鼻に突き刺さります。でも、ありがたいことにこれは一時的なものです。さらに腐敗を防ぐために、内臓を解剖する方法を考えないと...そして全身の防腐処理を行います。でもその前に、最後にもう一度使ってみましょう。



茶髪の女子高生を横に引きずりました。彼女の体は完全に硬直しているようです。この姿勢なら、種付けプレスを試してみるのもいいかも。まずこの子の上に覆いかぶさります。体はまだ少し冷たい。もう我慢できない！



おお！...これはすごい！...JKと種付けプレスでセックスするってこんな感じか。少女のお尻はフィットネスボールみたいに弾力があって、粘膜がずっと肉棒を包み込んでる。処女じゃないけど、本当に素晴らしいJKの肉だ。



ハッ、お尻を叩く音がめっちゃ大きい、そろそろだな。一気に奥まで突き進もう。



体の重さを全部乗せて！一番奥まで突いた！

...頭が真っ白になった...すべての罪悪感を少女にぶつける。命を捨てた彼女たちにはもうこの肉体は必要ない。そう思うと全身がゾクゾクする。ただ彼女の体に密着するだけで、もう動かなくていい、精液が少女の膣内に次々と溢れ出す...一発また一発。

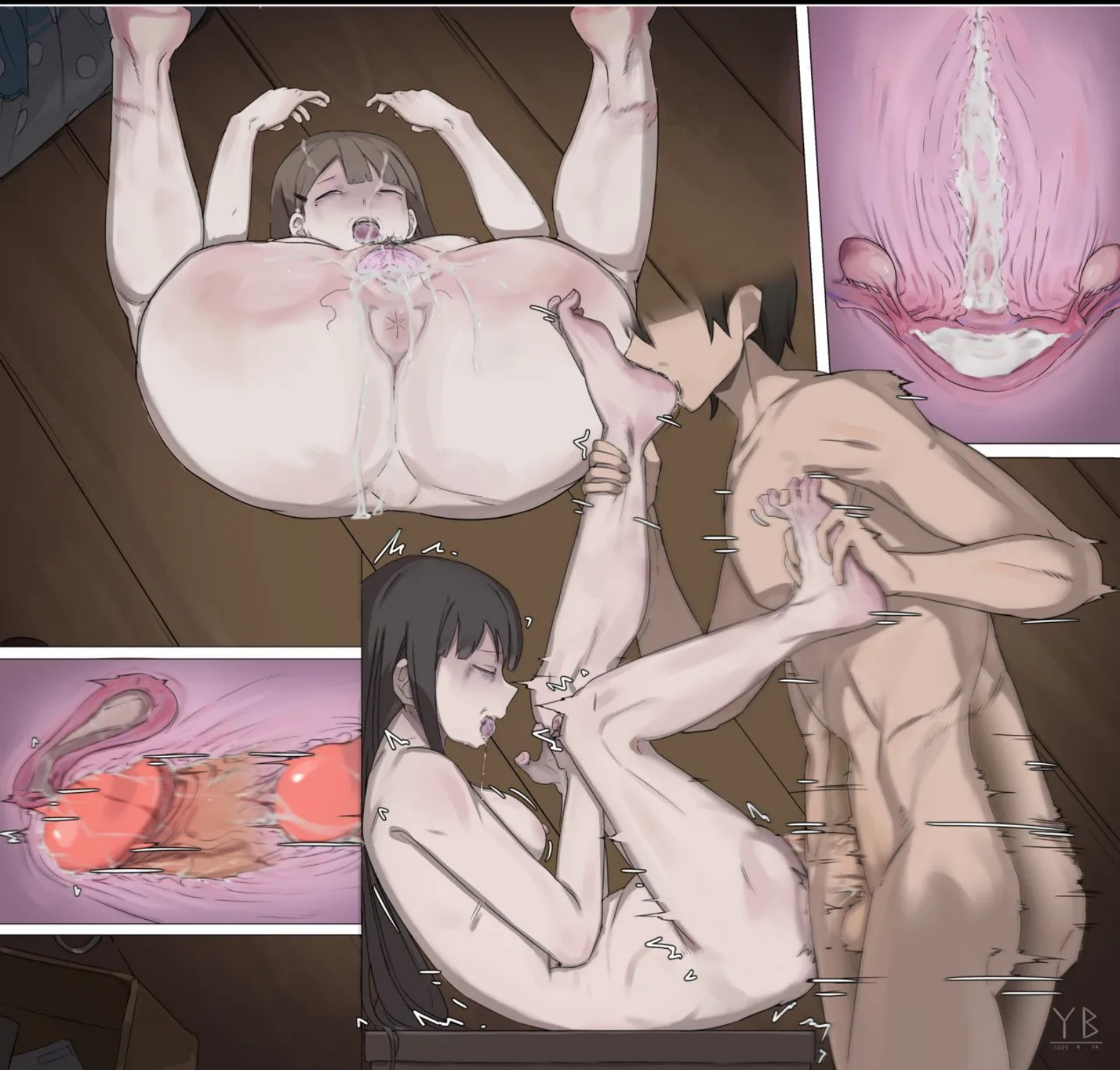


彼女の上でうっかり寝そうになった...こんな気持ちいいセックスは初めてだ。まだ体力があるから、もう一人を使ってみよう。



黒髪の子、よく見ると学生時代の初恋にちょっと似てるね。

膣がめっちゃキツイ。膣の粘膜を傷つけないように、かなり時間かけてやっと挿入できた。



死後硬直で足がちょっと持ち上げにくい、知らない人に美脚を舐められたくないって、微弱に抵抗してるみたいだ。おっと、血が出てきた、でももうこの子は痛みを感じないから大丈夫。生きてたらどんな可愛い反応をしたか想像もつかないな。

次は...締めくくりの時間だ。



ふう！めっちゃ気持ちよかった、膣を完全に広げちゃった。キツイ粘膜がペニスをぴったりくっついて、子宮口まで届いたみたいだ。

じゃあ遠慮なく—冷たい卵巣は熱い精液を気に入るだろう。



二人の女子高生を使った後、なんか達成感があるね。この二人の体を腐らせちゃうのは本当にもったいない。それじゃ、次は...防腐実験を続けよう。



(数日後)

彼女たちの体を防腐処理する間、地下室に小さな展示エリアを設けました。死の現場には墓も遺物もなく、彼女たちがここに来たことさえ誰も知りません。

YB
0025 1 . 21



でも今、彼女たちは完璧に保存されています。遺体をワイヤーでポーズをとらせ、しっかりと固定し、展示台に互いに密着させ、自殺に使ったロープを持ち、セルフィーを撮るようなポーズで、まるで死後の姿を記録しているかのようです。



内臓は取り除かれ、頭蓋骨の中にも何も残っていません。完全に性玩具になりました。



防腐実験は非常に成功し、筋肉の多くは硬化しましたが、下半身と口は生前の柔らかさを保っています。



彼女たちの膣も、使いやすい最も快適な形に徐々に拡張されました。毎日の林間巡回の後、彼女たちと遊ぶことが日常の一部になりました。



時折、町に買い物に行くと、彼女たちの着せ替え用の服を買います。新しい姿を見るたびに、ますます興奮します。



彼女たちの体の中に射精するのは、精液を無駄にするだけのような気もしますが、使うたびに彼女たちの携帯のシャッターを押して写真を撮る瞬間、罪悪感と達成感が湧き上がります。



使用後には彼女たちの体を洗い、洗浄液を膀胱に注入し、尿道から排出させます。



夜寝る前に、時々こうやって彼女たちをベッドに連れて行って遊びます。空っぽの二人なので体重が軽く、簡単に自分に抱き上げられます。



それから、上の子をこうやって吊るして、股間と口に潤滑油を塗ります。人形化した彼女たちが自分に横たわっていて、上吊りの後の首の跡が残っています。これは彼女たちの死の勲章のようです。舐めると感触が良く、時折、かすかな腐臭がします。時々、乳首に蜂蜜を塗ると、味もなかなかいいです。



気分が乗ってきたら、ペニスを彼女たちの股間に挿入します。今回は褐色髪の少女のパンストに穴をあけたので、太ももでセックスする間にパンストの締め付け感も感じられます。



ゆっくり腰を動かして、ぴったりくっついた陰唇の間を擦る、この快感はまるで天国に昇るようです。少し動くだけで、彼女たちの陰唇がペニスに優しくキスしてくれます。悩み事を忘れて、射精を待つだけです。



これはまずい...ペニスが彼女たちの股間の挟み込みで痙攣して震えが止まらず、快感が最高潮に達しました。よく考えると、私の山林は彼女たちに誰も知らない自殺の場を提供し、彼女たちはそのお礼として死後の体をくれました。残念なことに、この二人の女子高生は自殺者の中で数少ない受け入れられる存在です...そうでなければ、自殺者がこんなに面倒だとは思わなかったでしょう。



これでほぼ終わりです。ちょっと浴室に運んで洗って、今夜は彼女たちを抱いて寝ましょう。この二つの死体が具体的にどれくらい保存できるかは分かりませんが、いつか山を巡回しているときに新しいおもちゃが見つかるかもしれません。



—FIN

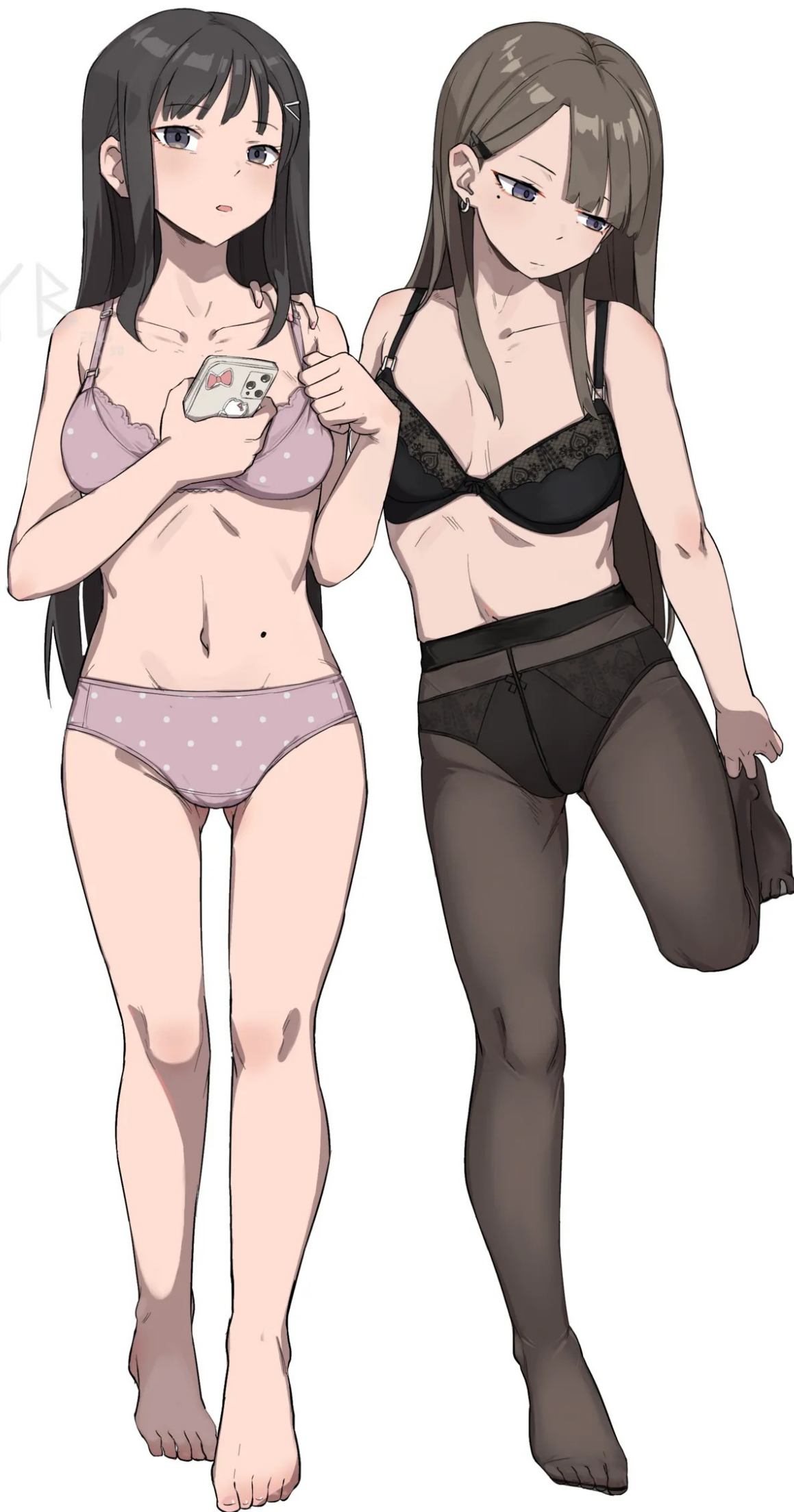


YB

2025
5.30



YB



YB



YB

